

歯系大学院説明会・第4回歯系大学院生研究発表会・ 選択科目説明会の開催報告

小松澤 均

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
健康科学専攻 発生発達成育学講座
口腔微生物学分野

平成23年度の歯系大学院説明会、第4回歯系大学院生研究発表会ならびに歯学部学生への選択科目紹介を担当させて頂きました。歯系大学院生研究発表会は平成20年度から開催され、今回で第4回目の開催となり年末の恒例行事となってきました。歯系大学院説明会と選択科目紹介は今年度から新しく始まりました。大学院説明会では歯学研究の重要性・必要性・面白さを理解してもらい、将来的に大学院への道を考えてもらいたいという主旨のもと始まりました。また、選択科目紹介はより多くの学生さんたちに興味のある学問、研究にふれてもらいたく、また選択科目を選択することで教員とのコミュニケーションの機会をより多くしてもらいたい目的で始まりました。いずれも、将来的には歯学研究の活性化、歯科医療人の育成につながるものと考えます。ご存知のように研修医の必修化に伴い大学院への進学率は減少してきています。しかし、近年の医療の発達は目を見張るものがあり、より高度化、細分化されてきており、今後もその傾向は続いていくものと思います。また、超高齢化社会への移行、健康増進法の施行などに伴い、歯科においてもQOL向上の社会的な需要も増してきています。こうした背景の中で歯科医療についても技術的・メンタル的に多角的な医療のさらなる向上が望まれます。こうした社会のニーズに応えるべく歯学研究のさらなる発展のためには、大学院生を確保し、研究マインドを持つ歯科医療人の育成は必須の課題であります。

研究といっても、その中には基礎・臨床研究と多岐にわたっています。研究というとピペットを握ってなにやら難しいことをするというイメージがありますが、それだけではありません。遺伝子・タンパクレベルでの基礎・臨床研究、新規薬剤を用いた臨床研究、歯科

材料学的研究、疫学研究など多種多様です。大学院コースの中には臨床高度歯科専門臨床医養成コースも新設され、より臨床的な研究が行えます。研究を行うことは歯科医療の発展に寄与することはもちろんですが、物事に対する考え方、論理的思考など、様々なことを学べると考えます。大学院生研究の活性化は歯学研究全体の活性化に直結します。ぜひ、鹿児島大学から多くの研究成果を発信していきましょう。

今年度、私が担当しました3つの会についての概要を報告致します。

(1) 歯系大学院生説明会の開催

開催日時：平成23年7月29日（金）

17:30 ~ 19:00 大学院説明会

19:00 ~ 20:30 ポスター展示での個別相談会

参加者：100名

学部学生：28名、研修医：21名、

歯科衛生士：4名、教員：47名

内容：

【第一部】

(1) 杉原歯学部長 挨拶

(2) 宮脇副研究科長 挨拶

(3) 大学院コースの紹介（博士、修士）：小松澤

(4) 大学院（研究）へのススメ

松口教授、中村教授

(5) 「大学院生活」について

武元先生（小児歯科）、

岐部先生（口腔顎顔面外科学）

【第二部】

ポスター掲載：各教室の個別説明

ほとんどの研修医が参加し、また、開催時期が夏休みと重なり歯学部学生が少ないことが懸念されたが28名参加し、総勢100名の盛況な中で開催された。松口教授ならびに中村教授の大学院へのスメは大学院に入ること、研究をする意義について非常に面白くかつ分かりやすくご説明頂き、両先生の熱い思いが伝わってくる内容でした。また、武元先生、岐部先生には実際の鹿大での大学院生活の紹介を非常にリアルに話して頂き、後のアンケートでも非常に評価が高いものでした。その後のポスター会場での個別相談会も多くの方にお越し頂き、有意義な会となりました。また、同時に各教室の研究内容などについて事前にポスターを貼り出したことで、教員を含む多くの先生方への歯学部内での研究内容が伝えられたのではないかと思います。来年度もぜひ開催できればと思います。今回は開催までの時間があまりなく、学外への案内が十分ではなかったため、来年度は5、6月の時期の開催に向け、準備していきたいと考えています。

(2) 選択科目紹介

開催日時：平成23年11月9日（水）

13：00～16：10 第一部：選択科目紹介（全科目）

16：10～17：10 第二部：ポスター展示会場での個別相談会

参加者：167名

1年生：2名、2年生：49名、3年生：54名、

4年生：52名、5年生：8名、6年生：2名

内容：

【第一部】

- (1) 杉原歯学部長 挨拶
- (2) 於保教育委員長 挨拶
- (3) 各分野（21分野）の選択科目紹介



大学院説明会1：大学院説明会：第一部 説明会風景

【第二部】

ポスター前での各教室の個別説明

各教室の選択科目の特徴がわかる内容で、また併せて各教室の紹介を冊子で配布しており、学生たちはよく理解できたと思います。しかし、各教室7分間の紹介で21教室分の説明があり、休憩を一度挟んでの3時間近くの紹介のため、第一部が終わった後は学生たちも少々疲れ気味であった。したがって、その後の個別相談会に参加する学生がやや少なかった。しかし、個別相談会では学生は興味ある選択科目の担当教員と熱心に話しをしていた。選択科目紹介を行ったあと、数名の学生さんが新たに選択科目を履修することになり、それなりの効果はあったのではないかと思います。また、もっと早い時期に聞きたかったという学生さんたちが多くいた。今後は開催時期を含め、より興味の持てる選択科目紹介を行っていければと思いました。

(3) 第4回歯系大学院生研究発表会

開催日時：平成23年12月10日（土）

9：00～16：10 発表会

16：10～18：00 表彰式、懇親会

参加者：154名

学部学生：12名、大学院生：48名、教員、

研修医等：92名、学外：2名

発表会内容：

- (1) 継続研究発表
- (2) 研究成果発表
- (3) 早期修了者発表
- (4) 学生発表
- (5) 「同窓会奨励賞」受賞者発表



大学院説明会2：大学院説明会：第二部ポスター会場にて

今回はこれまでの大学院生研究発表会に加え、学生発表および若手研究者2名による発表を行った。今年で4回目ということもあり、大学院生の発表は非常に堂々としており、また質の高さも感じられる内容であった。学生発表では今年度のデンツブライ SCRIP 日本選抜大会で発表を行った学部6年生の藤居君が、大会の概要・感想と大会で発表した内容を発表してもらい非

常に面白かった。また、若手研究者発表では、歯学部同窓会にご尽力頂き、昨年度より設立された「鹿児島大学歯学部同窓会奨励賞」を基礎・臨床系各1名を若手研究者に授与する形式に変更して頂いた。若手研究者の熱い話は大学院生のみならず多くの教員の刺激になったかと思えます。その後の懇親会・表彰式でも多くの先生方に参加して頂き、和やかな雰囲気での交流



選択科目紹介1：ポスター展示風景



選択科目紹介2：ポスター会場での相談会風景



大学院生研究発表会1：大学院生研究発表会 風景



大学院生研究発表会2：口腔先端科学学術奨励賞（学生発表）授与式



大学院生研究発表会3：歯学部同窓会奨励賞授与式



大学院生研究発表会4：大学院生研究発表会 懇親会

の場となりました。今回、アンケートを行いました
が、発表できなかった人を含めて、ポスターセッション
のようなものがあればより興味のある研究について議論
ができるのではないかという意見が多数ありました。